

令和2年度 事業報告書

令和2年11月1日から令和3年10月31日まで

認定特定非営利活動法人 very50

1 事業の成果

中軸事業である実践問題解決プロジェクト（MoG）について、引き続きコロナ禍の影響を強く受け、キャンセルを余儀なくされたプロジェクトも多くありました。他方、受入企業や地方自治体から多大なる協力を受け、感染予防対策を徹底した上で遂行した国内プロジェクトでは、意欲ある高校生に対して問題解決に関わるリアルな実践機会を提供することができ、参加者はもちろんのこと、保護者や先生方からもご好評をいただくことができました。また、オンラインツールを活用した問題解決型プログラムやリーダーシップ育成プログラム等を継続して実施し、多くの意欲ある高校生および大学生に向けて、深い学びの機会を提供することができました。

組織運営については、多くの方々から温かいご寄付・ご支援を頂戴し、令和2年12月3日付にて認定取得を実現することができました。令和3年8月には、今後の継続的な事業拡大を見据え、定款変更の認証取得も完了しました。

コロナ禍での活動制限により、引き続き大変困難な状況となりましたが、寄付者の方々による寄付金、またプロボノやボランティアによる業務支援を通じて、多くの励ましを受け、事業継続の大きな力となりました。次年度以降も、1人でも多くの意欲ある若者に対して深い学びの機会を提供するために、感染予防を徹底した上でプログラム遂行、オンラインツール等を効果的に駆使した各種プログラムの実践、新規事業案の策定・遂行など、価値あるプログラムの実施に向けて尽力いたします。

2 事業の実施に関する事項

| 事業名 | 事業内容 | 実施日時 | 実施場所 | 従事者の人数 | 受益対象者の範囲及び人数 | 事業費の金額 (千円) |
|-----------------------------------|---|------|----------------------|--------|--------------------|----------------|
| 実践問題解決プログラム | 事前授業を実施後、プロジェクト開催地にて現地ワークとして実践型の教育研修を実施する。 | 随時 | 日本国内 および オンライン | 6名 | 高校生 大学生 618名 | 35,465 |
| 社会問題の解決に向けて当事者意識を育むための情報発信および普及啓発 | 問題解決・リーダーシップ育成・キャリア開発等のテーマに関わる教育研修や講演会等を実施する。 | 随時 | 日本国内 および オンライン | 6名 | 高校生 大学生 422名 | 1,866 |
| 社会問題の解決に向けて実際に行動できる人材の育成および支援 | 社会問題の解決に繋がる諸活動を実施する。 | 随時 | 当期は 実施せず | - | - | - |
| 奨学金制度の運営 | 自然災害等による被害もしくは経済的困難な状況にある学生に対して奨学金を提供し、学ぶ機会を提供する。 | 随時 | 当期は 実施せず | - | - | - |
| その他この法人の目的を達成するために必要な事業 | 上記以外で団体の活動目的に沿う諸活動を実施する。 | 随時 | 当期は 実施せず | - | - | - |